

(6) サインゲン

主要病害虫別防除方法

病害虫名 (病原体)	農薬によらない防除	農薬による防除
モザイク病 (PSV、BYMV 普通系統、BCMV、CMV マメ科系統)	①健全株から取った種子を使用する。 ②ほ場周辺の除草を行い、伝染源を絶つ。 ③発病株を早期発見し除去する。 【参考事項】 病原ウイルスは、アブラムシ類（マメアブラムシ、ワタアブラムシなど）によって伝搬されるほか、種子伝染するものもある（ウイルス病の伝染方法の項参照）。	①アブラムシ類を防除する（アブラムシ類の項参照）。
炭疽病 (<i>Colletotrichum</i>)	①無病株の健全莢から採種する。 ②耐病性品種を選び栽培する。 ③発病株は早期に除去する。 ④常発地では連作を避ける。 【参考事項】 一般に蔓性種は強く、わい性種は弱い。 初夏と初秋に雨の多い年は発生が多い。	①種子消毒を行う（野菜種子の消毒の項参照）。
苗立枯病 (<i>Pythium</i>)、 根腐病、萎凋病 (<i>Fusarium</i>)、 葉腐病、リゾクトニア根腐病 (<i>Rhizoctonia</i>)	①土壌を還元状態にして太陽熱消毒を行う（土壌病害虫の防除法の項参照）。	①種子消毒を行う（野菜種子の消毒の項参照）。 ②土壌消毒を行う。 (例) ダゾメット粉粒剤（ガスタード微粒剤、バスアミド微粒剤）（葉腐病） クロルピクリンくん蒸剤（クロールピクリン（根腐病）、クロピクフロー（萎凋病））
アブラムシ類	①防虫ネットで被覆する。 ②シルバーポリマルチをする。 ③ほ場内又は周辺の雑草を除去する。	①定植時、又はは種時に粒剤を植穴土壌混和する。 (例) イミダクロプリド粒剤（アドマイヤー 1 粒剤） ②発生初期から農薬散布する。 (例) アセタミプリド水溶剤（モスピラン顆粒水溶剤） ジノテフラン水溶剤（アルバリン顆粒水溶剤、スタークル顆粒水溶剤） チアメトキサム水溶剤（アクタラ顆粒水溶剤）